

うちの庭には木が多すぎるのではないか、木と木の間隔が狭すぎるのではないか、という相談をよく受ける。①人々は、間隔が狭いと光と水の奪い合いになる、と心配するようだ。しかも、林業に詳しい人ほど不安がる。植林地では、幹をできるだけ早く伐採可能な太さにしなければならぬので、大きな樹冠が均等に広がるように十分な間隔を確保する。そのために、五年ごとに邪魔になる木を切り倒すほ

どだ。切られなかった木は一〇〇歳という若さで製材所送りになるので、少しぐらい不健康でもかまわない。不健康？ 邪魔者がいなくて、たくさん光を浴びて、水も十分に吸収できる木ほど、すくすくと元気に育つはずだ、不健康なはずがない。あなたもそう思っただろうか？ さまざまな種類の樹木が生える森では、たしかにそれとおりのだ。それぞれの木が少しでも多くの光や水を得ようと競争する。

しかし、同じ種類の樹木同士ではそうはならない。すでに紹介したように、ブナなどの木は仲間意識が強く、栄養を分け合う。弱った仲間を見捨てない。仲間がいなくなると、木と木のあいだに隙間ができ、森にとって好ましい薄暗さや湿度の高さを保てなくなってしまうからだ。つまり、局所的な気候が変わってしまう。最適な気候が維持できてはじめて、それぞれの木は自分のことを考え、自由に生長できるようになる。そうはいっても、完全に自由なわけではない。少なくとも②ブナ

の木は「公平さ」に重きを置いている。私が管理しているブナ林で、ある女学生が興味深い発見をした。信じられないことに、そこにある木はどれもまるで③申し合わせたかのように同じ量の光合成をしていた。どの木もそれぞれ違う環境に立っていて、土が柔らかい場所もあれば、石が多い場所もある。湿っぽい区画もあれば、乾燥しがちな土壌もある。栄養素がどれぐらい含まれているかも区画によってまちまちで、それこそ数メートルごとに環境が異なっている。条件が違うのだから、内部で合成される糖分の量もばらばら

と、そこに管理しているブナ林で、ある女学生が興味深い発見をした。信じられないことに、そこにある木はどれもまるで③申し合わせたかのように同じ量の光合成をしていた。どの木もそれぞれ違う環境に立っていて、土が柔らかい場所もあれば、石が多い場所もある。湿っぽい区画もあれば、乾燥しがちな土壌もある。栄養素がどれぐらい含まれているかも区画によってまちまちで、それこそ数メートルごとに環境が異なっている。条件が違うのだから、内部で合成される糖分の量もばらばら

と、そこに管理しているブナ林で、ある女学生が興味深い発見をした。信じられないことに、そこにある木はどれもまるで③申し合わせたかのように同じ量の光合成をしていた。どの木もそれぞれ違う環境に立っていて、土が柔らかい場所もあれば、石が多い場所もある。湿っぽい区画もあれば、乾燥しがちな土壌もある。栄養素がどれぐらい含まれているかも区画によってまちまちで、それこそ数メートルごとに環境が異なっている。条件が違うのだから、内部で合成される糖分の量もばらばら

と、そこに管理しているブナ林で、ある女学生が興味深い発見をした。信じられないことに、そこにある木はどれもまるで③申し合わせたかのように同じ量の光合成をしていた。どの木もそれぞれ違う環境に立っていて、土が柔らかい場所もあれば、石が多い場所もある。湿っぽい区画もあれば、乾燥しがちな土壌もある。栄養素がどれぐらい含まれているかも区画によってまちまちで、それこそ数メートルごとに環境が異なっている。条件が違うのだから、内部で合成される糖分の量もばらばら

と、そこに管理しているブナ林で、ある女学生が興味深い発見をした。信じられないことに、そこにある木はどれもまるで③申し合わせたかのように同じ量の光合成をしていた。どの木もそれぞれ違う環境に立っていて、土が柔らかい場所もあれば、石が多い場所もある。湿っぽい区画もあれば、乾燥しがちな土壌もある。栄養素がどれぐらい含まれているかも区画によってまちまちで、それこそ数メートルごとに環境が異なっている。条件が違うのだから、内部で合成される糖分の量もばらばら

と、そこに管理しているブナ林で、ある女学生が興味深い発見をした。信じられないことに、そこにある木はどれもまるで③申し合わせたかのように同じ量の光合成をしていた。どの木もそれぞれ違う環境に立っていて、土が柔らかい場所もあれば、石が多い場所もある。湿っぽい区画もあれば、乾燥しがちな土壌もある。栄養素がどれぐらい含まれているかも区画によってまちまちで、それこそ数メートルごとに環境が異なっている。条件が違うのだから、内部で合成される糖分の量もばらばら

と、そこに管理しているブナ林で、ある女学生が興味深い発見をした。信じられないことに、そこにある木はどれもまるで③申し合わせたかのように同じ量の光合成をしていた。どの木もそれぞれ違う環境に立っていて、土が柔らかい場所もあれば、石が多い場所もある。湿っぽい区画もあれば、乾燥しがちな土壌もある。栄養素がどれぐらい含まれているかも区画によってまちまちで、それこそ数メートルごとに環境が異なっている。条件が違うのだから、内部で合成される糖分の量もばらばら

で、生長のはやさもそれぞれ異なっている。それなのにどの木も同じだけの光合成をしているのはなぜだろう？

私はこう考える。太い木も細い木も仲間全員が葉一枚ごとにだいたい同じ量の糖分を光合成でつくりだせるように、木々は互いに補い合っている。この調節は地中の根を通じて行われているのだろう。根を使って、私たちが想像する以上の情報が交換されているにちがいない。豊かなものは貧しいものに分け与え、貧しいものはそれを遠慮なくちよだいする。ここでも、菌類の巨大なネットワークが活躍し、出力調整機のような役割を果たしている。あるいはまた、立場の弱いものも社会に参加できるようにする社会福祉システム、といえるかもしれない。

ブナの場合、木と木の間隔が近すぎると生長できない、などということはない。逆に一メートルの範囲内に何本かが並んでいることもある。その場合、間隔が狭いので樹冠も小さくなる。④その状態をよくないと考える林業従事者もたくさんいて、彼らは間隔をもっと空けるためにそのうちの一本を切り倒したりする。

ところがあるとき、リユーベックの専門家が、密集しているブナ林のほうが生産性が高いことに気づいた。資源（主に木材）量の年間増加率が、密集林のほうが明らかに高いのだ。つまり、密集しているほうが木が健康に育つ。養分や水分をよりうまく分配できるからか、どの木もしっかりと生長してくれる。

窮屈そうだと思うって、人間が手助けのつもりで「邪魔者」を取り除くと、残された木は孤独になり、お隣さんとの交流が途絶えてしまう。なにしろ、隣には切り株しか残らないのだから。すると一本一本が自分勝手に生長し、生産性にもばらつきがでてくる。一部の樹木だけがどんどん光合成をして、糖分を蓄える。⑤そういう木は健康でよく生長するが、長生きすることはない。なぜなら、一本の木の寿命はそれが立つ森の状態に左右されるからだ。

⑥連携を失った森にはたくさんの「敗者」が立ち並ぶことになる。養分の少ない

真の価値は、そのなかの最も弱いメンバーをいかに守るかによって決まる」という、職人たちが好んで口にする言葉は、樹木が思いついたのかもしれない。森の木々はそのことを理解し、無条件にお互いを助け合っている。

『樹木たちの知られざる生活 森林管理官が聴いた森の声』
ペーター・ヴォールレーベン・著／長谷川圭・訳

*1 樹冠：樹木の上部の、枝や葉が茂っている部分。

*2 リユーベック：ドイツの都市。

問一——①「人々は、間隔が狭いと光と水の奪い合いになる、と心配するようだ」とありますが、奪い合いになるのはどのような場所においてなのか、本文から十五字以内で抜き出しなさい。

問二——②「ブナの木は「公平さ」に重きを置いている」と言えるのは、ブナ林がどのような状態にあるからですか。最も適切なものを次から選びなさい。
ア どんな土壌に生えた木でも、葉一枚がつくる糖分量が等しい状態
イ どんな太さの木でも、得られる光と水の量が同じである状態
ウ どんな間隔で植えられた木でも、樹冠が均等に広がっている状態
エ どんな気候で育った木でも、幹が均一なはやさで生長する状態

問三 ― ③「申し合わせたかのように」の意味として最も適切なものを次から選
びなさい。

- ア 互いに真似をしたかのように
- イ 遠慮しあっているかのように
- ウ 前もって相談していたかのように
- エ 誰かに命じられているかのように

問四 ― ④「その状態をよくないと考える林業従事者もたくさんいて」とありま
すが、なぜ林業従事者は「よくない」と考えるのか、理由として最も適切なもの
を次から選びなさい。

- ア 木が養分と水分をうまく分配することができないから。
- イ 病気の流行や害虫の発生により不健康な木になるから。
- ウ 樹冠が小さく見た目がとてもみすばらしくなるから。
- エ 幹が伐採可能な太さにまでなかなか生長しないから。

問五 ― ⑤「そういう木は健康でよく生長するが、長生きすることはない」とあり
ますが、

- 1、「そういう木」とはどのような木ですか。説明しなさい。
- 2、「長生きすることはない」とありますが、「そういう木」が長生きできない
理由を二つに分けて説明しなさい。

二 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

頼むから家に帰らせてくれ、というのが、その老婦人の①切実な訴えであった。

早朝五時の救急外来である。

八十二歳の女性が、発熱と息切れで救急搬送されたのだが、検査の結果は立派な肺炎であった。酸素状態は悪くないものの、X線検査も血液検査も②なかなか派手な所見を示しており、当然入院して治療すべき病状である。にもかかわらず、老婦人の訴えは微塵もゆるがなかった。

「頼むから家に帰らせてくれ」と。

③理由はきわめてシンプルなものであった。「アスパラガス」である。

時節は五月、一般的には連休以外に格別感興を起させない月かもしれないが、信州の片田舎では特別な存在感を持つ。この時期、長い冬を終えた信州は一足飛びに夏へと疾走を始め、一斉に開き始めた野花とともに④にわかに活発化するの種類の農作業である。気温の上昇に呼応するかのようには軽トラが現れ、耕運機が国道を横断し、病院の待合室の話題も血圧や糖尿病の話から、農事に一変する。話題が一変するだけならよいのだが、これにかかわる患者さんたちの態度も一変する。要するに A のである。

農家にとっては田植えをはじめとする農作業が、生活における最優先事項である。このためしばしば外来を無断で休み、ときに内服を忘れ、手術の日取りを延期し、肺気腫だろうと変形性膝関節症であろうと、お構いなしに作業に勤しむようになる。これらが即、命にかかわるといっわけではなからうが、見守る主治医が気をもむことは言うまでもない。

そうした中でも⑤最大の難物のひとつが、アスパラガスの収穫である。この春の大地からの贈り物は、収穫のタイミングが早朝の数時間に限られている。半日違えるなど以外で、二時間遅れただけでも一気に*1臺が立つのだそう。ゆえに刈り入れ時期は、肺炎だろうと心不全だろうと入院などしている場合ではないとい

問六 ― ⑥「連携を失った森」とありますが、

- 1、「連携」のことばの意味として、最も適切なものを次から選びなさい。
- ア 連帯して互いに影響を与えること
- イ 連絡をとって共に物事を行うこと
- ウ 連動させて目的を達成すること
- エ 連続の中で周囲と関わりを持つこと

2、森の中の「連携」とはどのようなことですか。文中の言葉を使って説明しなさい。

問七 ― ⑦「本来ならありえないこと」とありますが、「ありえないこと」の内容を、文中の言葉を使って二十五字以内で書きなさい。

問八 ― ⑧「社会の真の価値は、そのなかの最も弱いメンバーをいかに守るかによって決まる」とありますが、筆者はどのような人間社会を価値があると考えていますか。解答欄に合わせて答えなさい。

うことになるのである。

こうした出来事にまだ不慣れであった数年前は、ずいぶん当惑させられ、ときに苛立つこともあった。命よりもアスパラが大事ですかと問えば、「もちろんだ」と即答する。しかし救急車を呼んだのでしょうか？と告げても、「娘が勝手に呼んだのだ」と力説する。なんとか有めようと言葉を重ねても「こんな時間がもったいない」と遮られ、しまいに⑥患者と喧嘩になったこともあるのだが、最近になつてようやく見えてきたこともある。この土地では、人は季節とともに生きている。生きるということとは、ただ呼吸をするということではなく、何事かを営むということと同義である。ゆえに今では、⑦状況さえ許せば、アスパラガスを優先することも少なくなる。抗生剤を内服させ、収穫が終わったらすぐ戻ってくることを説明の上帰宅にする。そうすると、三時間もすれば、家族とともに皆病院へ帰ってくるのである。

「おかえりなさい」と私が告げた場所は、朝九時前の外来診察室である。娘に付き添われて戻ってきた老婦人は、誇らしげに新聞紙で包んだ大きなアスパラの束をさし出してくれた。さし出しつつ「明日の朝も行ってきていいかね？」と問うてくるのは、婦人の⑧策略というものである。私はとりあえず B 顔を試みるのだが、採れたてのアスパラの魅力に抵抗することは容易でない。やがて⑨ため息とともに苦笑すれば、老婦人は満足げに笑顔を浮かべてうなずいた。どうやら明日もこの素敵な贈り物を届けてくれるらしい。

(「五月の贈り物」 夏川草介)

*1 臺が立つ：野菜が生長しすぎて、固くて食べられなくなってしまうこと。

問一——①「切実な」の意味として最も適切なものを次から選びなさい。

- ア 長い間待ち続けていて大切な
イ 身に迫^{せま}っていて重大な
ウ 分かりきっていて当然な
エ 突然降りかかってきて緊急な

問二——②「なかなか派手な所見を示しており」とは検査の結果のどんな様子を

- 表していますか。最も適切なものを次から選びなさい。
ア ずいぶん悪い
イ かなり不規則だ
ウ とても意外だ
エ 実にはつきりしている
オ わりと見やすい

問三——③「理由はきわめてシンプルなものであった」とありますが、その「理由」はなんですか。「アスパラガス」という言葉を使つて説明しなさい。

問四——④「にわか」の意味を次から選びなさい。

- ア 突然
イ はげしく
ウ ゆっくり
エ 一気に

問五——Aにあてはまることばとして最も適切なものを次から選びなさい。

- ア 自分中心でわがままになる
イ 農業のことしか話そうとしない
ウ なんでも急いでしようとする
エ 心ここにあらずで落ち着かない
オ 医者 of 言うことを聞かなくなる

問九——⑧「策略」とありますが、

1、「策略」の意味を次から選びなさい。

- ア 相手の怒りをしずめるための機嫌^{きげん}をとるようなふるまい
イ 相手の気をそらすためのその場にそぐわないふるまい
ウ 相手に自分の本心を知られないようにするためのはかりごと
エ 相手を自分の望んでいる事態^{じたい}におちいらせるためのはかりごと

2、ここでの「策略」の内容を説明しなさい。

問十——Bに入る最も適切な語を次から選びなさい。

- ア もの悲しい
イ なさけ深い
ウ 気難^{きず}しい
エ 堅苦^{かた}しい

問十一——⑨「ため息とともに苦笑すれば」とありますが、この表情で「私」は「老婦人」に対してどのような思いを伝えていますか、書きなさい。

問十二 次の文学作品について述べた次の文の（ ）にあてはまる漢字二字の語を入

- A 幸福にアスパラガスを茹^ゆで零^{こぼ}す 倉田素香
B 山の唄^{うた}アスパラガスを炒^{いた}めつゝ 藤田湘子

1、右の文学作品について述べた次の文の（ ）にあてはまる漢字二字の語を入
れなさい。

このような文学の形式を（ア）といい、十七音で作ることと、「アスパラ
ガス」のような（イ）を表す言葉を用いることが原則である。

問六——⑤「最大の難物のひとつ」とありますが、どのような点で「難物」なので

- すか。最も適切なものを次から選びなさい。
ア 医師との対決
イ 収入の減少
ウ 農業での苦勞
エ 治療の障害

問七——⑥「患者と喧嘩になった」とありますが、

- 1、患者と喧嘩になったのは誰^{だれ}ですか。次から選びなさい。
ア 娘^{むすめ}
イ 医者
ウ 看護師^{かんごし}
エ 救急隊員
2、1の人の主張を十二字以内で答えなさい。

問八——⑦「状況さえ許せば」とありますが、どのような状況になればよいの

- ですか。最も適切なものを次から選びなさい。
ア 農家の人々の生活が苦しくない状況
イ 患者の病状がさしせまってはいない状況
ウ 本人と家族の意思が非常に強い状況
エ 病院のスタッフが農業に理解のある状況

2、ABの作品に共通していることとして最も適切なものを次から選びなさい。

- ア せわしない日常にも満足している
イ 得意な料理をすることをよるこんでいる
ウ ほがらかな生活の場面を楽しんでいる
エ 現実から離れた美しさ^{はな}にあこがれている
オ 懐かしい自然の風景を思い出している

問十三 本文中の「臺^{どう}が立つ」は、慣用句として「何かをするのにちょうどよい年
令を過ぎてしまう」という意味でも使われます。次の意味になるような「…」が
立つ」という慣用句を、（ ）に漢字一字を入れて完成させなさい。

- 1 名誉^{めいよ}が保たれる ↓（ ）が立つ
2 しやくにさわる ↓（ ）が立つ
3 文章が上手だ ↓（ ）が立つ

三 次のカタカナを漢字に直しなさい。

- 1 祖母の言葉を人生のシンシンにする。
2 カイシンの笑みを浮かべる。
3 料金のサガクを支払う。
4 姉の勉強に対するシセイを見習う。
5 目上の人をウヤマう。

